

プログラム

9月20日(土) 1日目

第1会場(41会議室)

開会式

8:55~9:00

テーマ演題

9:00~9:40

座長：大原 國章（赤坂虎の門クリニック）
永松 将吾（広島大学病院形成外科）

[古くからあるいい手術&新しくて良い手術]

T-01 Axial frontnasal flapにて再建した鼻背部基底細胞癌の1例

横見 明典（市立豊中病院 皮膚科）

T-02 白唇部皮膚欠損に対するSubcutaneous pedicle subunit flapによる再建

加藤 裕史（名古屋市立大学 皮膚科）

T-03 Z形成術を用いたdog earの修正法

南 祥一郎（市立伊丹病院 皮膚科）

T-04 信州大学方式を応用した眼瞼下垂手術

柴田 真一（SSクリニック）

一般演題1

9:45~10:35

座長：田中 了（川崎医科大学皮膚科）
中村 泰大（埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科）

[肉腫]

O-01 右大腿外側の未分化多形肉腫

芳賀 貴裕（気仙沼市立病院 皮膚科）

O-02 放射線治療後に外科的切除を行った左腰部未分化多形肉腫の1例

齋藤 暢胤（群馬大学 皮膚科）

O-03 術後に小脳膿瘍を伴った頭部血管肉腫の1例

小林 佳道（滋賀医科大学 皮膚科学講座）

O-04 術前の血管塞栓術が有効であった巨大悪性末梢神経鞘腫瘍の1例

佐藤 美紀（新潟大学 皮膚科）

- O-05 脂肪肉腫術後の広範囲皮膚欠損に対し戻し植皮で再建を行なった1例
井上 禎夫 (埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)
- O-06 巨大神経線維腫切除術におけるボルスター固定で良好なアウトカムを得た2例
竹中 美結 (岡山大学病院 皮膚科)

一般演題2

10:45~11:45

座長：柴田 真一 (SSクリニック)
浅越 健治 (岡山医療センター皮膚科)

[母斑・良性腫瘍・良性疾患]

- O-07 Sclerosing perineuriomaの1例
大石 京介 (金沢大学 皮膚科)
- O-08 足底ミルメシアの超音波検査所見と他疾患との鑑別に関する検討
長久 大介 (自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科)
- O-09 Blaschko線に一致して生じた左下肢の表皮母斑に対する治療経験
柿山 真喜子 (順天堂大学医学部附属浦安病院 皮膚科)
- O-10 下肢色素性母斑に対する複合的保存治療(ドライアイス圧抵療法+combined laser治療)の検討
山腰 彩綺 (横浜市立大学医学部 形成外科)
- O-11 左臀部の巨大びまん性神経線維腫に対し選択的動脈塞栓術を施行後に切除術を行った1例
加藤 佐樹子 (藤田医科大学 皮膚科)
- O-12 ANNBPを伴った巨大神経線維腫の1例
伊藤 鴻輝 (滋賀医科大学 皮膚科学講座)
- O-13 頭頂部ハゲ(カッパハゲ)に対する外科的治療～植毛術と併用治療の重要性について～
山本 一仁 (日本ウェルネス再生クリニック)

ランチオンセミナー1

12:10~13:10

座長：竹之内辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院)
松下 茂人 (国立病院機構鹿児島医療センター)

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

[皮膚がん薬物療法の再考 ～Evidence & Practice～]

- LS1-1 上皮系皮膚悪性腫瘍の治療戦略～実臨床の使用経験を踏まえて～
吉野 公二 (がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科)

LS1-2 メラノーマ薬物療法アップデート ～治療選択と個別化の時代へ～

前川 武雄 (自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科)

特別講演

13:25~14:25

座長：大原 國章 (赤坂虎の門クリニック)

SL-1 Precision Surgery in Chronic Inflammation: The Role of Mohs Micrographic Surgery in Hidradenitis Suppurativa

Adhimukti T. Sampurna (Cipto Mangunkusumo Hospital)

SL-2 Role of Teledermatology and AI for Detecting Melanoma in an Archipelago

Danang Tri Wahyudi (Dharmais National Cancer Center Hospital)

一般演題3

14:30~15:15

座長：吉川 周佐 (静岡県立静岡がんセンター皮膚科)

前田 拓 (北海道大学大学院医学研究院形成外科学教室)

[悪性黒色腫]

O-14 対側腋窩リンパ節へ転移した右前胸部悪性黒色腫の1例

橋本 桃佳 (広島大学病院 皮膚科)

O-15 臍部悪性黒色腫の1例

角 総一郎 (自治医科大学 皮膚科)

O-16 末節骨を温存した悪性黒色腫の2例

中島 康爾 (弘前大学 皮膚科、弘前総合医療センター 皮膚科)

O-17 National datasetを用いた日本のメラノーマ治療戦略変遷の解析

後藤 寛之 (大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学)

O-18 Rethinking Subungual Melanoma Management: Nail Unit Preservation, Wide Excision, and Reconstruction

Agassi Suseno Sutarjo (Dharmais National Cancer Center Hospital)

Q&A形式演題(口演)

15:50~16:30

座長：緒方 大 (国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科)

金子 高英 (順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科)

[あなたならどうする]

Q-01 小児の後頸部に生じた隆起性皮膚線維肉腫の1例

藤野 里砂 (千葉大学医学部附属病院 皮膚科)

Q-02 生来より存在していた左下肢の色素斑を主訴に、65歳で受診した男性の1例

岩澤 うつぎ（地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立広尾病院 皮膚科）

イブニングセミナー

16:40～17:40

座長：中川 雅裕（浜松医科大学医学部形成外科学講座）

共催：コンパテックジャパン株式会社

[皮膚外科が切り拓く難治性創傷治療の最前線]

ES 創傷に挑む!Wound Hygiene～バイオフィルム制御を核とした新時代の創傷管理～

前川 武雄（自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科）

第2会場/ハンズオン会場(43会議室)

ハンズオンセミナー

10:30～12:00

司会：橋川 和信（名古屋大学大学院医学系研究科 形成外科学 教授）

共催：株式会社ベアーメディック

HS 未来を拓く進化する新しい針を用いて

座学

緒方 大（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 医長）

高木 信介（昭和医科大学医学部形成外科学講座 准教授）

実習 講師：橋川 和信、緒方 大、高木 信介

「クロソイド針とコンパウンド針を用いた皮膚、真皮縫合（豚皮を使用）」

プログラム

9月21日(日) 2日目

第1会場(41会議室)

一般演題4

8:50~9:50

座長：林 礼人（横浜市立大学医学部形成外科）
松下 茂人（国立病院機構鹿児島医療センター）

[手術手技・再建・治療法（顔面）]

O-19 口唇悪性腫瘍切除後のfan flapおよび変法による再建例の検討

中村 杏奈（新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院）

O-20 Modified Dorsal Nasal Flapの有用性

池羽 杏菜（中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科）

O-21 外耳道周囲に発生した基底細胞癌に対し、後耳介島状皮弁を使用し再建した2例

宍戸 明衣（岩手医大 皮膚科）

O-22 当科で下眼瞼の全層欠損に対し複合組織移植を用いて再建を行った症例についての比較検討

嘉多山 絵理（久留米大学医学部 皮膚科学講座）

O-23 悪性腫瘍切除後に外側眼窩皮弁で眼瞼の再建を行った2例

大塚 正樹（中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科）

O-24 頬粘膜温存切除、遊離腹直筋皮弁にて動的再建術を行った頬部隆起性皮膚線維肉腫の1例

名嘉真 健太（久留米大学医学部 皮膚科学講座）

O-25 Versatility of Island Pedicle Flaps for Post-Mohs Surgery Facial Reconstruction: A 3-Case Series Involving Complex Subunits

Fadhli Aulia Mughni (National Cancer Center -Dharmais Cancer Hospital)

センチネルリンパ節生検とリンパ節郭清をどうする

10:00~11:00

座長：浅井 純（京都府立医科大学皮膚科）
面高 俊和（信州大学皮膚科）

K-01 鼠径郭清のアプローチ：縦方向か、横方向か

鹿児島山 浩（富山大学 皮膚科）

K-02 皮膚がんにおける骨盤内リンパ節郭清術の検討

中山 裕一（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、尾鷲総合病院 皮膚科）

K-03 SLN陽性例のリンパ節郭清術(LND)の適応について
～SLN陽性でLNDする意義と適応条件～

清原 祥夫 (静岡がんセンター 皮膚科)

ランチオンセミナー2

12:00～13:00

座長：山崎 文和 (東海大学皮膚科)
金子 高英 (順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科)

共催：ユーシービージャパン株式会社

[化膿性汗腺炎]

LS2-1 尋常性乾癬の臨床試験と実臨床での経験から得られたビンゼレックスの適正使用
萩野 哲平 (日本医科大学千葉北総病院 皮膚科)

LS2-2 重症化を防ぐHS治療戦略:ビメキズマブを含む最新の薬物療法とその適応
山口 さやか (琉球大学大学院 医学研究科 皮膚科学講座)

一般演題5

13:10～13:55

座長：安田 正人 (群馬大学皮膚科)
持田 耕介 (宮崎大学医学部附属病院皮膚科)

[有棘細胞癌]

O-26 術後早期に多発転移を来し、急速な転帰を辿った左腋窩有棘細胞癌の1例
後藤 吉啓 (浜松医科大学 皮膚科学講座)

O-27 真皮内帯状脂肪化生を見逃さない!一再発を繰り返した有棘細胞癌の1例
岩田 昌史 (NH0鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科)

O-28 高度な屈筋腱沿い浸潤を呈した足趾有棘細胞癌の一例
宮崎 梨香子 (兵庫県立がんセンター 皮膚科)

O-29 口唇のSCCに対してメトトレキサート病変内注入療法と外科的切除を行った1例
上野 桃 (日本赤十字社 さいたま赤十字病院 皮膚科、順天堂大学浦安病院 皮膚科)

O-30 当科における皮膚有棘細胞癌のリンパ節転移に対する放射線療法の治療効果の検討
森 龍彦 (福島県立医科大学 皮膚科)

一般演題7

14:00～14:45

座長：須山 孝雪 (獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科)
竹之内辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院)

[基底細胞癌]

O-37 全周術中迅速病理検査を行った基底細胞癌の2例
大村 裕樹 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)

- O-38 転移リスクのある鼻翼基底細胞癌に術後放射線療法を行った1例
久保 致子 (宮崎大学 皮膚科)
- O-39 鼻柱から鼻腔内の基底細胞癌に対して全層植皮術で再建し整容的に良好な結果を得た1例
松本 智子 (広島大学病院 皮膚科)
- O-40 左鼻尖部基底細胞癌切除後の耳介複合組織移植による鼻翼及び鼻孔縁再建の1例
下西 広大 (宮崎大学医学部附属病院 皮膚科)
- O-41 鼻翼部基底細胞癌に対してrotation flapで再建した2例
呉 暄 (聖マリアンナ医科大学病院 皮膚科)

一般演題9

14:50~16:00

座長：黒川 正人 (熊本赤十字病院形成外科)
大塚 正樹 (中東遠総合医療センター皮膚科・皮膚腫瘍科)

[手術手技・再建・治療法 (体幹・その他)]

- O-47 頭蓋骨に及ぶhot air sauna burnsの1例
宮原 華子 (日立製作所日立総合病院 皮膚科)
- O-48 広範囲または筋肉露出を伴う皮膚欠損に対する植皮固定における陰圧閉鎖法に関する特定臨床研究
中村 貴之 (筑波大学 皮膚科)
- O-49 鼠経郭清の縫合創に局所陰圧療法を応用した乳房外Paget病の1例
小松崎 靖弘 (帝京大学医学部附属病院 皮膚科学講座)
- O-50 乳房外バジェット病の陰茎の植皮術
三原 崇 (島根大学 皮膚科)
- O-51 外陰部乳房外Paget病の切除後臀溝皮弁で再建した一例
栗崎 道賢 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)
- O-52 陰茎部のtie overの工夫
柴野 穂乃佳 (帝京大学医学部附属病院 皮膚科)
- O-53 Perifascial areolar tissue (PAT)を用いて再建した亀頭癌
横山 恵美 (獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科)
- O-54 陰茎亀頭部悪性腫瘍の術後に生じた外尿道口狭窄症に対し局所皮弁による形成術を行った2例
門口 佳乃子 (医誠会国際総合病院 皮膚科)

閉会式

16:00~16:05

プログラム

9月21日(日) 2日目

第2会場/ハンズオン会場(43会議室)

一般演題6

13:10~14:00

座長：有馬 豪（藤田医科大学皮膚科）
鹿見山 浩（富山大学皮膚科）

[感染症・膿皮症・炎症性疾患・創傷]

O-31 化膿性汗腺炎に対するDeroofingを用いた治療経験

鎌田 啓文（岩手県立中央病院 皮膚科）

O-32 姑息的皮膚切開術にて治療した子宮体癌術後左下肢リンパ浮腫を背景に生じた壊死性筋膜炎の1例

能登 舞（秋田大学 皮膚科）

O-33 迅速な外科的介入により患肢を救済し得た、A群溶血性連鎖球菌M1UK株による小児の壊死性筋膜炎の1例

盛田 紘有（東京大学医学部附属病院 皮膚科）

O-34 顔面壊死性筋膜炎の一例

高本 美智（京都府立医科大学 皮膚科）

O-35 ネキソブリッド外用ゲルを使用した広範囲熱傷の治療例

古橋 祥子（帝京大学 皮膚科）

O-36 毛巣洞に対する再建術式と再発率の多施設共同研究

佐々木 奈津子（鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、産業医科大学 皮膚科）

一般演題8

14:10~15:00

座長：加藤 裕史（名古屋市立大学皮膚科）
八田 尚人（富山県立中央病院皮膚科）

[術後管理・周術期管理・その他]

O-42 肝硬変患者に生じた止血困難な外傷性皮下血腫

中島 理子（NHO高崎総合医療センター 皮膚科）

O-43 皮膚外科におけるベッドサイド超音波の臨床的知見

王 瀚棠（台湾国立成功大学医学院附属病院 皮膚部）

O-44 たかがアテローム、されどアテロームー背部の表皮嚢腫はなぜ再発が多いのかー

前田 学（八幡病院 皮膚科）

O-45 皮膚悪性腫瘍治療後リンパ浮腫に対する介入効果の検討

緒方 大 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

O-46 皮膚外科と保険診療

白田 俊和 (JCHO中京病院 皮膚科)

一般演題10

15:10~15:45

座長：瀧口 徹也 (浜松医科大学附属病院形成外科)
高井 利浩 (兵庫県立がんセンター皮膚科)

[皮膚癌・悪性腫瘍「その他」]

O-55 男性乳輪部皮下腫瘍として発見されたDuctal carcinoma in situ (DCIS)の1例

村田 愛美 (国立病院機構 岡山医療センター 皮膚科)

O-56 小児の顔面に生じたPlexiform fibrohistiocytic tumorの一例

小高 愛莉奈 (福井大学 皮膚科)

O-57 遅発性放射線障害に難渋した足背Porocarcinomaの一例

年名 悠 (和歌山県立医科大学 皮膚科)

O-58 再発を繰り返したのち、神経周囲浸潤を伴う頬部の微小嚢胞性付属器癌と診断された1例

伊藤 一真 (虎の門病院 皮膚科)

ロビー

一般演題(ポスター発表)

[ひと目ご覧ください]

P-01 生検と最終的なブレスロー厚の乖離を予測する因子およびそのメラノーマにおける影響

劉 威廷 (National Cheng Kung University Hospital Department of Dermatology)